

後援会 東北工業大学 だより

第38号

東北工業大学後援会

令和5年4月20日(木)

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35番1号 電話(022)305-3155



別刷 令和5年度父母懇談会のご案内
令和5年度父母懇談会日程
講演者紹介
キャンパスガイド家庭版

ページごあんない

後援会会長あいさつ	2
令和5年度後援会総会	2
令和4年度事業報告	3
令和5年度事業計画	5
令和4年度決算報告書	6
令和5年度予算	6

ごあいさつ



後援会会長
小鹿 信弘

ご父母の皆様、日頃から後援会の活動にご理解ご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

後援会の目的は、大学の興隆発展に寄与し、会員相互の連携を図ることであり、その目的達成のため、本会では様々な事業を計画しております。今年度は4年振りに入学式後に後援会総会を行い、令和4年度の事業と会計報告、令和5年度事業計画並びに予算(案)をご承認いただきました。

新型コロナウイルス感染症も令和5年5月8日から感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられることから、令和5年度につきましては、これまで開催が見送られてきた大学の事業等についても支援を進めてまいりたいと思っております。

では、後援会の事業をいくつかご紹介させていただきます。

1. ご父母対象事業

<父母懇談会>

大学と家庭との連絡活動として、令和4年度は各地域での開催に加えオンラインでの面談も実施させていただきました。今年度も仙台会場2カ所(八木山キャンパス・長町キャンパス)、東北5県と新潟県の計8会場で6月に実施する予定であります。また、仙台会場については11月にも開催予定であります。父母懇談会は、ご子女の所属学科教員との個人面談になります。学業のことは勿論、授業への出席状況、就職対策、課外活動等について、直接教員からアドバイスを聞くチャンスであり、参加したご父母からは大変好評をいただいております。また、例年実施していた各会場での講演会については、後援会 Web サイトからオンライン(オンデマンド)配信いたします。講演は大学の就職委員長から「本学の就職サポート体制と各学科の就職実績状況」とカウンセラーから「本学における学生相談のご紹介」と題して行いますので、是非ご覧ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

<大学見学会>

10月の大学祭時に、ご父母等対象の大学見学会を実施する予定であります。日頃の学生の活動の様子や成果を見ることが出来ます。後援会としては、屋台等で使用できる金券を補助いたしますので、多くの皆様方のご来場をお待ちしております。

2. 学生対象事業

<貸与奨学金>

歴代のご父母から委託されてきた特別積立金の使途の一方策として、平成12年度から東北工業大学後援会貸与奨学金制度が制定され、4年次に在籍し、経済的事由により就学が困難な学生に対して後援会が銀行と提携して奨学金を貸与しております。

<100円カレー DAY>

令和4年度に引き続き、大変好評であった100円カレー DAY(昼食)の経費を援助いたします。食事を摂らない学生や栄養の偏り等で体調を崩してしまう学生の健康改善と経済支援を目的として実施いたします。

<就職支援>

就職活動時に活用する就職の手引の作成や支援講座・模擬テスト等の経費の一部援助を行っております。

<課外活動支援>

クラブ活動の用具類等の援助を行っております。また、昨年度は、課外活動優秀者として、3団体、41名の個人が学長から表彰されましたが、後援会では、副賞を贈呈いたしました。

以上のような事業以外にもご父母、学生、大学のために多くの施策を実施し、満足度の高いサービスの提供を心掛けておりますので、今後とも皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和5年度 東北工業大学後援会総会

日時 令和5年4月5日(水)午前11時50分(入学式終了後)
場所 東北工業大学八木山キャンパス体育館
出席者 新入生ならびに在学生の父母約800名

※令和4年度をもって嶺岸理事、齋藤理事が退任されました。ご尽力に厚くお礼申し上げます。

令和5年度 後援会役員

- 第1号議案 令和4年度事業報告及び決算について
伊藤副会長より、後援会の主要事業である父母懇談会を含む令和4年度の実績報告が行われた。その後、丹野会計担当理事より決算報告。遠藤監事より、監査報告が行われ、原案どおり承認されました。
- 第2号議案 令和5年度事業計画並びに予算(案)について
高橋副会長より事業計画(案)、丹野会計担当理事より予算(案)が提案され、原案どおり承認されました。
- 第3号議案 令和5年度役員改選(案)について
事務局より、新年度役員改選の提案があり、承認されました。

議長解任後、令和5年度新役員紹介が行われ、小鹿会長が挨拶し、12時30分ごろ閉会しました。

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	小鹿 信弘	理事	○佐々木直美
副会長	佐藤 育朗	青森県支部長	八戸 認
副会長	高橋 健一	秋田県支部長	佐々木雅章
副会長	伊藤 克利	岩手県支部長	福士 光則
会計担当理事	丹野 喜昭	山形県支部長	三澤 桂一
理事	小野寺正美	福島県支部長	壁谷 茂
理事	堀 豊	新潟県支部長	伊藤 広義
理事	安倍 恵子	監事	齋藤 麻希
理事	富谷加奈子	監事	遠藤 拓
理事	青木 強		

○印は新任

令和4年度 後援会事業報告

東北工業大学後援会は、昭和60年4月に発足してから今年度38年目を迎えることができました。

本会は、規約にもありますように、その目的を実現するため種々の事業を継続的に行っております。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、3月に発生した地震により体育館の一部が破損したため、ご父母を一堂に会しての総会を開催することができず、後援会会員の皆様に“議案書”を送付し書面による決議とさせて頂きました。

新型コロナウイルス感染症の影響により後援会活動の中止・変更を余儀なくされておりましたが、感染症対策を施し一部の事業を再開しております。ここに令和4年度の活動を報告いたします。

記

1. 大学と家庭との連絡活動

(1) 後援会総会議案書の送付

新型コロナウイルス感染症の影響に加え、3月に発生した地震により体育館の一部が破損し、一堂に会しての総会を開催することができず、会員の皆様へ総会議案書を郵送させていただきました。更に、後援会 Web サイトへ議案内容の説明動画を掲載しました。

(2) 父母懇談会

後援会の主要行事の一つである父母懇談会は、6月には東北から新潟までの8会場及びオンライン、11月には仙台会場及びオンラインにて開催され、538名（ご両親出席も1名として集計）のご父母が参加されました。

各会場では大学側の近況報告後、学科ごとに教員との個人面談が行われました。ご父母からは、学業成績をはじめ就職問題に至るまで活発な質問やご意見が寄せられ、応対する先生方と和やかな中にも熱心な話し合いがもたれ、好評のうちに終了しました。

昨年度から開催しているオンライン個人面談には、6月、11月合わせて119名のご父母が参加されました。

ご両親出席も1名として集計

開催地	青森県青森市	秋田県秋田市	岩手県盛岡市	宮城県仙台市	オンライン	山形県山形市	福島県福島市	新潟県新潟市	宮城県仙台市	オンライン	合計	
実施日	6/18	6/4	6/18	6/11	6/11	6/4	6/19	6/5	11/5	11/5		
参加者	30	19	47	106	49	29	14	4	170	70	538	
工学部	電気電子工学科	4	3	10	17	18	10	6	2	35	13	118
	情報通信工学科	11	4	4	16	12	6	4	0	22	17	96
	都市マネジメント学科	4	1	11	6	4	4	1	1	14	4	50
	環境応用化学科	2	2	6	13	3	3	0	0	5	9	43
建築学部	建築学科	5	4	10	15	5	5	0	0	32	7	83
LD学部	産業デザイン学科	3	2	1	15	1	0	2	0	25	9	58
	生活デザイン学科	1	3	5	15	4	1	1	1	25	5	61
	経営コミュニケーション学科	0	0	0	9	2	0	0	0	12	6	29

※ LD学部はライフデザイン学部の略称です。

参加者からのアンケートでは、

- ・大学でこのように親とのつながりの場を設けて下さるのは非常にありがたいことです。
- ・大変良かったです。子供の様子もきちんと把握して頂いていました。就職に対して不安でしたがバックアップ体制があり安心しました。
- ・家庭での状況等も伝えることができ、大学との情報

共有が計れた。

などの感想が寄せられました。

(3) オンライン（オンデマンド）による講演会の開催

父母懇談会の開催に合わせ、後援会 Web サイトへ講演会の動画を掲載しました。講演内容は次のとおりです。

講師：就職委員長 小出 英夫（都市マネジメント学科 教授）
演題：「本学の就職サポート体制と各学科の就職実績状況 2022」

講師：猿渡 英代子（学生サポートオフィス カウンセラー）
演題：「本学における学生相談のご紹介」

皆様が関心の深いテーマを今後も継続し、より充実した講演会にしていきたいと考えております。

(4) 「後援会だより」並びに「キャンパスガイド家庭版」の発行

後援会の活動状況を会員にお伝えするため、「後援会だより」（第37号）を発行し、後援会 Web サイトへ掲載しました。

あわせて父母懇談会の意義や講師の紹介などを掲載した父母懇談会のご案内と「キャンパスガイド家庭版」を作成し送付しました。

(5) 本年度も大学の協力を得て、「成績通知書」を2回送付しました。

2. 学生生活に関する援助

(1) 新型コロナウイルス感染症予防対策用品として、携帯用消毒液を支援しました。また、補充用消毒液を学生サポートオフィスに常備しました。

(2) 100円カレーデー（昼食）への経費援助

食事を摂らない学生や栄養の偏り等で体調を崩してしまう学生の健康改善と経済支援策として、学業に専念できる状態を維持することを目的として、大学が実施する100円カレーデー（昼食）の経費を援助しました。

(3) 災害発生時の帰宅困難学生用の備蓄品（食料）購入に係る経費の一部を援助しました。

(4) 女子学生支援として、各キャンパス保健室前トイレに生理用品を設置し、無償で使用できるようにしました。

3. 就職支援の援助

(1) 「就職の手引き」の作成

学生の就職活動に役立ててもらうため、就職活動の進め方や履歴書の書き方などを記載した「就職ガイドブック」を作成し、3年次生の就職ガイダンスにおいて配布しました。

(2) 就職支援講座・模擬テスト等の充実

就職支援を強化するため、全学生が受験する適性検査（PROGテスト）の経費を一部援助しました。

また、希望者に対し就活筆記試験攻略セミナー（2・3年生対象、適性検査模擬受検&解法・対策講座）、エントリーシート&面接実践講座（3年生対象）を実施しその経費の一部を援助しました。

更に、公務員試験対策講座の経費の一部を援助しました。

(3) 就職活動に向けた心構え、意識醸成として、①主体性、判断力、コミュニケーション力、協調性、プレゼンテーション力など、社会で求められる力を理解、向上させること、②採用側の意図、考えを知り、来る就職活動に備えることを目的に実施された就職活動早期準備講座の経費を援助しました。

(4) 進路支援活動への支援

各学科で実施する進路支援活動に対し、学生数×

1,000円を上限に援助しました。

4. 課外活動の援助

学生会・課外活動連合委員会を中心とする学生の自主活動には、体育会系・文化会系クラブの約50団体と、学生部会・大学祭実行委員会・報道部会・応援団・その他任意団体がありますが、その活動を後援する目的で下記のとおり援助を行いました。

- (1) クラブ活動用具類等の援助
課外活動連合委員会からの要請を受け、各クラブの活動状況を評価して、必要な物品を援助しました。
- (2) 学外指導者への援助
学生のクラブ活動をご指導いただいている学外指導者に対し、大会への引率旅費等を援助しました。
- (3) 課外活動クラブが遠征等に八木山シャトルを利用した際の借用経費等の一部を補助しました。
- (4) 課外活動クラブが学外での練習等で利用する施設の使用料を補助しました。
- (5) 課外活動優秀者表彰において、団体表彰（3団体）及び個人受賞者（41名）へ副賞を贈呈しました。

5. 教育に必要と認められる援助

- (1) 図書館への援助
電子書籍を購入し、大学図書館に寄贈しました。
- (2) 卒業生および新入生への援助
卒業生に対する記念品として印鑑、新入生に対する記念品としてキャンパスカレンダー、および産業デザイン学科学生のデザインによるペーパーバッグ（手提げ袋）を贈呈しました。
- (3) 二輪車運転実技講習会経費の一部援助
大学では、安全運転の徹底をはかるため二輪車で通学する学生に対して、登録制度を採用しており、大学が指定する実技講習会の受講を義務付けています。本年度は、5月と10月に2回の実技講習会を実施定しており、全体で15名が宮交自動車学校の指導員より指導を受けました。オンラインでの講習会も実施し27名が受講しました。講習会参加賞品の一部を援助しました。
- (4) 工大山羊プロジェクトに係る経費を援助しました。
- (5) 10月15日(土)・16日(日)八木山キャンパスで開催された大学祭時に学生の活動や学内の様子を見学するための「大学見学会」を実施し、それら経費の一部を援助しました。
- (6) 施設整備のための援助
教室の電源不足解消のために購入したPC充電用モバイルバッテリーの経費を援助しました。

6. その他大学の発展に寄与するものと認められる援助

- (1) 寄付
TOHTECH2023 募金へ1,500万円を寄付いたしました。
- (2) 貸与奨学金制度
大学から推薦された2名の学生に後援会貸与奨学生として総額922,000円を貸与いたしました。
昨年度までに採用された66名の卒業生から返還が行われております。卒業された奨学生の方々の社会でのご活躍を祈念いたします。
- (3) 一番町ロビーへの援助
東北工業大学一番町ロビーの広報活動の一助として、「一番町ロビー通信」の印刷経費等を援助しました。

7. 後援会支部組織の強化支援

後援会の充実と組織の強化を図るため、東北5県(宮城県除く)および新潟県に支部を結成しており、地元での活動を行っています。

大学と各支部との情報交換および活動支援のため、後援会本部役員等が各支部総会のほか幹事会にも参加し意見交換を行っています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で一部の幹事会を中止、持ち回り開催しておりましたが、本年度は感染症対策を施し再

開されました。

各支部では、支部会報を発行する等の活動が行われております。

令和4年度 各県支部総会開催および支部役員

開催県	青森県 第27回支部総会	岩手県 第28回支部総会	秋田県 第26回支部総会	山形県 第30回支部総会	福島県 第27回支部総会	新潟県 第23回支部総会
開催日	6月18日(土)	6月18日(土)	6月4日(土)	6月4日(土)	6月19日(日)	6月5日(日)
支部長	八戸 認 (青森市)	福土 光則 (滝沢市)	佐々木雅章 (秋田市)	三澤 桂一 (山形市)	壁谷 茂 (田村市)	伊藤 広義 (阿賀野市)
事務局長	有馬 清文 (青森市)	佐藤 功 (北上市)	高橋 孝悦 (秋田市)	齋藤 俊之 (山形市)	宗像 幸雄 (郡山市)	大竹 章夫 (阿賀野市)
幹事	西館 隆 (八戸市)	鎌田 正彦 (花巻市)	藤田 正春 (秋田市)	加藤 元康 (東置賜郡)	山田 良一 (福島市)	渡邊 憲昭 (北蒲原郡)
	佐藤 仁志 (十和田市)	工藤 安彦 (盛岡市)	小林 克至 (秋田市)	斎藤 雅博 (最上郡)	只野 昭治 (二本松市)	市川 勝彦 (阿賀野市)
	横内 俊博 (青森市)	菅原 正明 (盛岡市)	藤澤 哲 (秋田市)	佐々木健一 (山形市)	吉田千津子 (福島市)	<顧問> 竹野 史郎 (燕市)
	長利 好晃 (つがる市)	菅原 正美 (二戸市)	浅利 善人 (秋田市)	小林 雅史 (山形市)	嶺岸由紀彦 (福島市)	明道 立樹 (燕市)
	成田 全弘 (南津軽郡)	菊地 康 (奥州市)	足利 健 (秋田市)	山口 薫 (西置賜郡)	立谷 惣一 (相馬市)	
	数牛 茂光 (十和田市)	飛澤 隆 (宮古市)	佐々木 司 (秋田市)	五十嵐志真 (鶴岡市)	林 由紀江 (いわき市)	
		佐々木敏江 (柴波郡)	藤田 勝 (秋田市)	五十嵐 恵 (新庄市)	工藤 明大 (福島市)	
		畠山 泰彦 (北上市)	高橋 雄一 (秋田市)	土田 裕 (鶴岡市)		
		小原 学 (柴波郡)				
		日廻 葉子 (奥州市)				
		吉川 香 (滝沢市)				
		坂本 恵 (盛岡市)				
退任された役員			永井 大晴 (令和4年3月)			

8. 同窓会との連携強化

大学の発展に寄与するため、大学の支持基盤の強化を図る一助として同窓会との連携を強める活動として同窓会総会・懇親会に後援会役員が出席し、交流を深めておりました。

令和5年2月17日同窓会北上支部総会へ出席し交流が再開されました。

9. 後援会事務局からの情報発信

令和2年4月より、東北工業大学後援会 Web サイトを開設しました。本会の運営状況につきましては <https://tohtech-koenkai.org/> からご確認いただけます。

10. 諸会議等

- 総 会 令和4年4月11日(月)(総会中止のため議案書を発送)
- 三 役 会 議 令和4年9月28日(水)(秋の理事会・令和4年度事業、予算中間報告について、令和5年度事業計画について)
- 理 事 会 令和4年10月15日(土)(令和4年度事業、予算中間報告について、令和5年度事業計画について)
- 三 役 会 議 令和5年1月25日(水)(後援会総会について、卒業・入学記念品選定、支部活動経費)
- 臨時三役会議 令和5年2月9日(水)(貸与奨学生について)(メール審議)
- 会 計 監 査 令和5年3月4日(土)
- 三 役 会 議 令和5年3月4日(土)(総会議案検討)
- 理 事 会 令和5年3月18日(土)(総会議案書審議)
- 事務局会議 随 時

令和5年度 後援会事業計画

後援会規約第3条に基づく、事業計画の主な項目として、下記のとおり提案します。

記

1. 大学と家庭との連絡活動

(1) 父母懇談会

大学教職員と父母との交流の場として、学生の学園生活・修学および就職状況等について語り合う父母懇談会を開催します。父母懇談会の充実に努め、参加者の増加を図ります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により開催日程等変更となる事もあります。

詳細につきましては4月下旬発送予定の父母懇談会のご案内もしくは本会 Web サイトをご覧ください。

(2) 父母懇談会時の講演会の実施

各父母懇談会会場において、講演会を開催しておりますが、令和5年度につきましても講演会はオンライン（オンデマンド）とし、後援会の Web ページより視聴することができるよう準備します。

講師には、就職委員長（本学教員）およびカウンセラーを予定しています。

(3) 「後援会だより」「キャンパスガイド家庭版」の発行と「成績通知書」の送付

後援会活動状況ならびに大学生活等の情報発信メディアとして「後援会だより」を発行するほか、教職員・学生・父母が大学の情報を共有して、大学の動向について理解を深めていただくため、「キャンパスガイド家庭版」を作成します。また、修学状況をお知らせするため大学の協力を得て、成績通知書をご家庭に送付します。

2. 学生生活に関する援助

(1) 100円カレー（昼食）への経費援助

食事を摂らない学生や栄養の偏り等で体調を崩してしまう学生の健康改善と経済支援策として、学業に専念できる状態を維持することを目的として援助しております。なお、大学当局、同窓会、学生会と共に4団体での継続的な支援を続けていきます。

(2) 災害発生時の帰宅困難学生用の備蓄品（毛布、水、食料等）購入に係る経費の一部を援助します。

(3) 女子学生支援として、各キャンパス保健室前トイレに生理用品を設置し、無償で使用できるようにします。

3. 就職支援の援助

(1) 就職活動に役立つ「就職の手引き」など冊子類の作成に係る経費を援助します。

(2) 就職支援を強化するため、本年度は全学生が受験する適性検査（PROG テスト）の経費の一部を援助します。また、1～3年次生の就職支援を強化するため、希望者に対してSPI 特別講座、自己分析講習会、就職模擬テスト（一般常識テスト、就職適性検査および自己PR等の記入指導）などを実施しますが、その経費の一部を援助します。

(3) 就職活動対策研修の経費を援助します。

(4) 各学科の進路支援活動に対して、経費の一部を援助します。

4. 課外活動の援助

(1) クラブ活動の援助

体育・文化系団体等の学生の自主的活動を支援するため、その活動経費等の一部を援助します。また、年間活動優秀団体を表彰します。

(2) 大学祭等に対する援助

学生の全学的行事である大学祭等に対する援助を行います。

(3) 学外指導者の諸経費援助

学生の課外活動の指導に当たる学外指導者に対し、旅費・宿泊費等を援助します。

(4) 北海道科学大学定期戦への援助

コロナ禍で4年振りに開催する定期戦に対する援助を行います。また、今年度は、開会式とオープニングゲームをゼビオアリーナ仙台で開催し、コロナ禍で思うような大学生活を過ごすことができなかった在学生を対象としたイベント開催の援助も行います。父母、卒業生にも案内します。

(5) その他必要と認められる援助

その他、課外活動等への援助に関しては大学・学生

委員会と連携を図りながら進めます。

5. 教育に必要と認められる援助

- (1) 書籍等の図書を購入し、大学図書館に寄贈します。
- (2) 卒業生・入学生に対して、記念品を贈呈します。
- (3) 工大山羊プロジェクトに係る経費を援助します。
- (4) 学生の自主的活動や社会連携・社会貢献の企画に対し経費を援助します。
- (5) その他、必要と認められる援助をします。

6. その他大学の発展に寄与するものと認められる援助

- (1) 学生生活環境の整備
学生の生活環境の向上を図るため、諸施設・設備整備のための経費の一部を援助します。
- (2) 自主的サークル活動への援助
課外活動連合委員会傘下クラブ以外の学生の自主的サークル活動の援助を行います。
- (3) 一番町ロビーへの援助
「一番町ロビー通信」の印刷経費等を援助します。
- (4) 特別積立金

後援会としての特別積立金総額は令和4年度末において約7,000万円となっております。

本年度においては、特別積立金会計に300万円を計上することとします。

特別積立金の用途については、次世代へ、その恩恵を継続できるよう次の3点を踏まえ今後も検討していきます。

- 1) 特別積立金の用途については、大学当局と十分意見交換を行いながら、具体的な方策を提案します。
- 2) 学生に豊かなキャンパスライフを提供できる施策とします。
- 3) 今後在籍する学生も利用可能な学生支援事業とします。

(5) 貸与奨学金制度

歴代のご父母から委託されてきた特別積立金の用途の一方策として、平成12年度から東北工業大学後援会貸与奨学金制度が制定され、68名の卒業生に貸与してきました。その運用にあたっては特別積立金の果実（利子）により賄えることが望ましいが、現状に鑑み特別積立金の中から500万円を限度として貸与奨学生預金担保に組み入れます。

平成26年度までは奨学金対象者6名でしたが、平成27年度より8名に増やしました。

なお、返済期間満了に伴って生じる貸与奨学生預金担保戻金は特別積立金に繰り入れます。

(6) TOHTECH2023 募金への寄付

学生・父母が直接使用する物品購入に充てられるよう条件を付け、特別積立金から1,500万円を寄付いたします。

(7) 工大ブランディングプロジェクト推進

令和5年度より大学のブランディングプロジェクトが本格始動するにあたり、在学生、父母向けのブランディング推進を行います。

7. 後援会支部組織等の強化支援

支部組織の強化を図るため、適宜、支部幹事会を開催します。また、各県支部活動の情報交換や大学見学会等の活動を支援します。また、宮城県内会員に対しては、本部役員が支援いたします。

8. 同窓会との連携強化

大学の発展に寄与するため、大学支持基盤の強化を図る一助として、同窓会との連携を強めます。

- (1) 後援会、同窓会の三役連絡会議を随時開催し、交流を図ります。
- (2) 各支部と同窓会支部との連携拡大に努めます。

9. 後援会事務局の強化

本後援会の事務局は運営細則により大学当局の教務学生課が担当していますが、本会事業運営の発展とともに事務量は年々増加し、日常業務に支障をきたしている状況にあります。本会発足20年（平成18年度）を契機に大学当局、同窓会および本会の三者共同負担による専従職員の配置を行なってまいりましたが、平成26年度より後援会専従職員を配置しております。

令和2年度より東北工業大学後援会 Web サイトを開設し、後援会イベントのご案内や活動の様子を掲載し、情報発信に努めます。